

長浜市・湖北方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

8月20日（月）・21日（火）に、長浜市・湖北方面を訪問させていただいた夏の宿泊研修には、学生17名（滋賀医科大学医学科第2～5学年8名、看護学科第1～3学年7名、旭川医科大学医学科第4学年1名、滋賀県堅田看護専門学校看護学科第1学年1名）が参加しました。

【1日目】

・渡岸寺観音堂の見学

長浜市高月町の渡岸寺を訪問し、日本全国に7体ある国宝十一面観音の中でも最も美しいとされる観音さまを拝観しました。



・長浜市立湖北病院にて研修

滋賀県で一番北に位置する湖北病院を訪問しました。湖北病院は長浜地域の地域医療の第一線の医療機関で、東野副院長から歓迎のご挨拶をいただき、続いて本学出身の辻本医師から、湖北病院の特徴や医療過疎地区における冬季の積雪の多さなど、熱心にご説明いただきました。

また、地域包括支援センターの宮本社会福祉士から、湖北地域における高齢者の支援状況、介護ニーズの増加に伴う病院や職種を超えた連携の必要性などについてご説明いただきました。

その後、副院長のご案内で、滋賀県最北の診療所である「中河内診療所」を訪問しました。そこはほぼ福井県との県境に位置し、冬季は豪雪に見舞われますが、湖北病院の管理により定期的に診療が行われています。



・長浜町歩き

長浜名物の「鯖そうめん」を堪能し、ボランティアガイドさんの案内で長浜市内を見学しました。曳山博物館、黒壁、大通寺などを見学しましたが、あまりの暑さに、見学終了とともに近くのお店でアイスクリームを頬張っていました。



・交流会

第1部では、藤井勇治長浜市長から、長浜地域の医療行政の状況についてご挨拶いただき、最後に市長から、是非風光明媚な湖北長浜で医師・看護師として活躍していただきたいとのお話がありました。



続いて浅井東診療所の松井善典所長から「診療所からみた湖北地域の医療福祉～ケアの協調性をテーマに～」、長浜市健康福祉部健康推進課の横田留里課長から「湖北地域の医療福祉の現状と課題」をご講演いただきました。



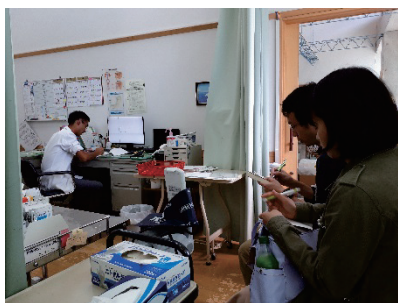
交流会2部では、訪問先の関係者の方々や行政の方々にご参加いただき学生と交流され、貴重な意見交換、懇談の場となりました。



【2日目】

・各診療所での研修

2日目は、医学科学生が永原診療所、塩津診療所、中之郷診療所に分かれ診療所での見学実習を行いました。また、看護学科の学生は湖北病院で3グループに分かれ、ケアマネージャーとしての業務、訪問看護について実習を行いました。



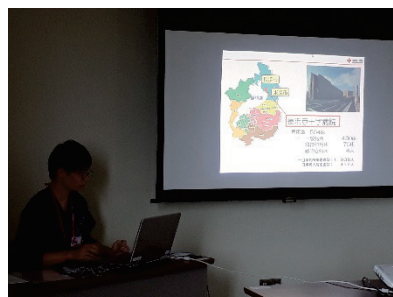
・市立長浜病院

市立長浜病院には、医学科、看護学科それぞれ4名ずつ計8名の学生が訪問し、看護科の草野科長補佐のご案内で病院見学をさせていただきました。その後、医学科と看護学科に分かれ、医学科では本学卒業生の廣坂専攻医と田中研修医と、看護学科では若松看護師と交流会にも参加いただいた齋藤看護師と、それぞれ意見交換を行い、交流を深めていました。



・長浜赤十字病院

長浜赤十字病院には、医学科、看護学科それぞれ4名ずつ計8名の学生が訪問し、塩見副院長（兼）第一外科部長のご案内で病院見学をさせていただきました。その後、医学科と看護学科に分かれ、医学科では本学卒業生の奥長研修医と、看護学科では奥野副部長、本学卒業生の田村助産師と意見交換を行い、交流を深めていました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

（この研修は、滋賀医科大学里親学生支援室との共催で実施しました。）